別記様式第２号（その１の２）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基　本　計　画　書

基本計画									
事項		記入欄							備考
計画の区分		研究科の専攻の設置							
フリガナ 設置者		ｺｸﾘﾂﾀﾞｲｶﾞｸﾎｳｼﾞﾝ　ｺｳﾍﾞﾀﾞｲｶﾞｸ 国立大学法人　神戸大学							
フリガナ 大学の名称		ｺｳﾍﾞﾀﾞｲｶﾞｸﾀﾞｲｶﾞｸｲﾝ 神戸大学大学院（Graduate school of Kobe University）							
大学本部の位置		兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1							
大学の目的		開放的で国際性に富む固有の文化の下，「真摯・自由・協同」の精神を発揮し，人類社会に貢献するため、普遍的価値を有する「知」を創造するとともに，人間性豊かな指導的人材を育成する。							
新設研究科等の目的		急速に進展する医療分野のデジタル化と複雑化する経営環境に対応し，医療機関における全体最適化を戦略的に推進できる高度専門職人材を養成する。							
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	
		年	人	年次人	人			年　月 第　年次		
	医学系研究科 ［Graduate School of Medicine］ 医療経営管理学専攻 （専門職学位課程） ［Department of Medical Administration］	1.5	10	－	20	医療経営管理学修士（専門職） ［Master of Medical Administration］	医学関係	令和9年4月 第1年次	兵庫県神戸市中央区楠町7丁目5-1	専門職大学院 14条特例の実施
	計		10	－	20					
同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）	■学士課程 医学部 医学科［定員減］　（△1） ■修士課程 経済学研究科 経済数理データ科学専攻［新設］（15）（令和8年6月設置届出） ■博士課程前期課程 経済学研究科 経済学専攻〔定員減〕（△15）（令和9年4月） 国際協力研究科 国際協力専攻［新設］（70）（令和8年6月設置届出） 国際開発政策専攻（廃止）（△26）（令和9年4月） 国際協力政策専攻（廃止）（△22）（令和9年4月） 地域協力政策専攻（廃止）（△22）（令和9年4月） ※令和9年4月学生募集停止 ■博士課程後期課程 国際協力研究科 国際協力専攻［新設］（23）（令和8年6月設置届出） 国際開発政策専攻（廃止）（△8）（令和9年4月） 国際協力政策専攻（廃止）（△7）（令和9年4月） 地域協力政策専攻（廃止）（△8）（令和9年4月） ※令和9年4月学生募集停止								
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数				修了要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	医学系研究科医療経営管理学専攻（専門職学位課程）	24科目	10科目	科目	34科目	30単位			

	研究科等の名称	専任教員					助手	専任教員以外の教員（助手を除く）	
		教授	准教授	講師	助教	計			
新設分	医学系研究科	人	人	人	人	人	人	人	
	医療経営管理学専攻	13	2	1	2	18	0	16	
	（専門職学位課程）	(13)	(2)	(1)	(2)	(18)	(0)	(16)	
	経済学研究科								令和8年6月
	経済数理データ科学専攻	6	2	2	0	10	0	30	設置届出
	（修士課程）	(6)	(2)	(2)	(0)	(10)	(0)	(30)	
	国際協力研究科								令和8年6月
	国際協力専攻	16	10	1	1	28	0	32	設置届出
	（博士課程前期課程）	(16)	(10)	(1)	(1)	(28)	(0)	(32)	
	国際協力専攻	14	10	0	0	24	0	2	
	（博士課程後期課程）	(14)	(10)	(0)	(0)	(24)	(0)	(2)	
	計	49	24	4	3	80	0	－	
		(49)	(24)	(4)	(3)	(80)	(0)	－	
既設分	人文学研究科								
	文化構造専攻	8	8	7	1	24	0	0	
	（博士課程前期課程）	(8)	(8)	(7)	(1)	(24)	(0)	(0)	
	文化構造専攻	8	7	7	0	22	0	0	
	（博士課程後期課程）	(8)	(7)	(7)	(0)	(22)	(0)	(0)	
	社会動態専攻	16	7	5	1	29	0	0	
	（博士課程前期課程）	(16)	(7)	(5)	(1)	(29)	(0)	(0)	
	社会動態専攻	18	7	5	1	31	0	0	
	（博士課程後期課程）	(18)	(7)	(5)	(1)	(31)	(0)	(0)	
	研究科共通	0	0	0	0	0	0	11	※うち学内教員1名
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(11)	
	国際文化学研究科								
	文化相関専攻	16	7	5	0	28	0	0	
	（博士課程前期課程）	(16)	(7)	(5)	(0)	(28)	(0)	(0)	
	文化相関専攻	16	7	4	0	27	0	0	
	（博士課程後期課程）	(16)	(7)	(4)	(0)	(27)	(0)	(0)	
	グローバル文化専攻	13	6	6	2	27	0	4	
	（博士課程前期課程）	(13)	(6)	(6)	(2)	(27)	(0)	(4)	
	グローバル文化専攻	13	6	3	0	22	0	4	
	（博士課程後期課程）	(13)	(6)	(3)	(0)	(22)	(0)	(4)	
	研究科共通	0	0	0	0	0	0	11	※うち学内教員1名
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(11)	
	人間発達環境学研究科								
	人間発達専攻	27	19	1	8	55	0	1	
	（博士課程前期課程）	(27)	(19)	(1)	(8)	(55)	(0)	(1)	
	人間発達専攻	27	19	1	8	55	0	1	
	（博士課程後期課程）	(27)	(19)	(1)	(8)	(55)	(0)	(1)	
	人間環境学専攻	16	12	1	5	34	0	0	
	（博士課程前期課程）	(16)	(12)	(1)	(5)	(34)	(0)	(0)	
	人間環境学専攻	16	12	1	5	34	0	0	
	（博士課程後期課程）	(16)	(12)	(1)	(5)	(34)	(0)	(0)	
	研究科共通	0	0	0	0	0	0	2	
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	
	法学研究科								
	法学政治学専攻	27	7	0	0	34	6	0	
	（博士課程前期課程）	(27)	(7)	(0)	(0)	(34)	(6)	(0)	
	法学政治学専攻	37	9	0	0	46	6	0	
	（博士課程後期課程）	(37)	(9)	(0)	(0)	(46)	(6)	(0)	
	実務法律専攻	16	4	0	0	20	6	0	
	（専門職学位課程）	(16)	(4)	(0)	(0)	(20)	(6)	(0)	
	研究科共通	0	0	0	0	0	0	35	
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(35)	
	経済学研究科								
	経済学専攻	26	8	7	0	41	2	8	
	（博士課程前期課程）	(26)	(8)	(7)	(0)	(41)	(2)	(8)	
	経済学専攻	32	10	9	0	51	2	8	
	（博士課程後期課程）	(32)	(10)	(9)	(0)	(51)	(2)	(8)	
	研究科共通	0	0	0	0	0	0	1	
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	
	経営学研究科								
	経営学専攻	30	18	1	0	49	0	10	
	（博士課程前期課程）	(30)	(18)	(1)	(0)	(49)	(0)	(10)	
	経営学専攻	37	19	0	0	56	0	10	
	（博士課程後期課程）	(37)	(19)	(0)	(0)	(56)	(0)	(10)	
	現代経営学専攻	23	3	0	0	26	0	1	
	（専門職学位課程）	(23)	(3)	(0)	(0)	(26)	(0)	(1)	
	研究科共通	0	0	0	0	0	0	17	※うち学内教員1名
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(17)	

理学研究科							
数学専攻	12	4	0	0	16	1	1
（博士課程前期課程）	(12)	(4)	(0)	(0)	(16)	(1)	(1)
数学専攻	11	4	0	0	15	1	1
（博士課程後期課程）	(11)	(4)	(0)	(0)	(15)	(1)	(1)
物理学専攻	8	8	2	2	20	0	0
（博士課程前期課程）	(8)	(8)	(2)	(2)	(20)	(0)	(0)
物理学専攻	8	8	2	1	19	0	0
（博士課程後期課程）	(8)	(8)	(2)	(1)	(19)	(0)	(0)
化学専攻	12	5	0	0	17	0	2
（博士課程前期課程）	(12)	(5)	(0)	(0)	(17)	(0)	(2)
化学専攻	12	5	0	0	17	0	2
（博士課程後期課程）	(12)	(5)	(0)	(0)	(17)	(0)	(2)
生物学専攻	10	7	3	4	24	0	7
（博士課程前期課程）	(10)	(7)	(3)	(4)	(24)	(0)	(7)
生物学専攻	10	7	3	0	20	0	7
（博士課程後期課程）	(10)	(7)	(3)	(0)	(20)	(0)	(7)
惑星学専攻	9	2	4	4	19	0	0
（博士課程前期課程）	(9)	(2)	(4)	(4)	(19)	(0)	(0)
惑星学専攻	9	2	4	4	19	0	0
（博士課程後期課程）	(9)	(2)	(4)	(4)	(19)	(0)	(0)
研究科共通	0	0	0	0	0	0	24
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(24)
医学系研究科							
医科学専攻	49	10	4	8	71	0	20
（博士課程）	(49)	(10)	(4)	(8)	(71)	(0)	(20)
先進生命医科学系専攻	55	34	11	32	132	0	63
（博士課程前期課程）	(55)	(34)	(11)	(32)	(132)	(0)	(63)
医療創成工学専攻	9	4	1	0	14	0	5
（博士課程後期課程）	(9)	(4)	(1)	(0)	(14)	(0)	(5)
健康科学専攻	16	10	4	9	39	0	7
（博士課程後期課程）	(16)	(10)	(4)	(9)	(39)	(0)	(7)
未来社会医学専攻	13	10	2	1	26	0	13
（博士課程後期課程）	(13)	(10)	(2)	(1)	(26)	(0)	(13)
研究科共通	0	0	0	0	0	0	157
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	157
工学研究科							
建築学専攻	10	8	1	7	26	0	0
（博士課程前期課程）	(10)	(8)	(1)	(7)	(26)	(0)	(0)
建築学専攻	10	8	1	5	24	0	0
（博士課程後期課程）	(10)	(8)	(1)	(5)	(24)	(0)	(0)
市民工学専攻	11	7	0	0	18	1	2
（博士課程前期課程）	(11)	(7)	(0)	(0)	(18)	(1)	(2)
市民工学専攻	11	7	0	0	18	1	2
（博士課程後期課程）	(11)	(7)	(0)	(0)	(18)	(1)	(2)
電気電子工学専攻	12	8	0	6	26	2	6
（博士課程前期課程）	(12)	(8)	(0)	(6)	(26)	(2)	(6)
電気電子工学専攻	12	8	0	6	26	2	6
（博士課程後期課程）	(12)	(8)	(0)	(6)	(26)	(2)	(6)
機械工学専攻	10	9	0	4	23	1	1
（博士課程前期課程）	(10)	(9)	(0)	(4)	(23)	(1)	(1)
機械工学専攻	10	9	0	4	23	1	1
（博士課程後期課程）	(10)	(9)	(0)	(4)	(23)	(1)	(1)
応用化学専攻	11	7	3	5	26	1	2
（博士課程前期課程）	(11)	(7)	(3)	(5)	(26)	(1)	(2)
応用化学専攻	11	7	3	3	24	1	2
（博士課程後期課程）	(11)	(7)	(3)	(3)	(24)	(1)	(2)
研究科共通	0	0	0	0	0	0	36
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(36)
システム情報学研究科							
システム情報学専攻	21	17	0	10	48	0	1
（博士課程前期課程）	(21)	(17)	(0)	(10)	(48)	(0)	(1)
システム情報学専攻	23	17	0	9	49	0	1
（博士課程後期課程）	(23)	(17)	(0)	(9)	(49)	(0)	(1)
研究科共通	0	0	0	0	0	0	20
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(20)

農学研究科							
食料共生システム学専攻	7	6	0	4	17	0	0
（博士課程前期課程）	(7)	(6)	(0)	(4)	(17)	(0)	(0)
食料共生システム学専攻	7	6	0	4	17	0	0
（博士課程後期課程）	(7)	(6)	(0)	(4)	(17)	(0)	(0)
資源生命科学専攻	11	13	0	10	34	0	0
（博士課程前期課程）	(11)	(13)	(0)	(10)	(34)	(0)	(0)
資源生命科学専攻	11	13	0	10	34	0	0
（博士課程後期課程）	(11)	(13)	(0)	(10)	(34)	(0)	(0)
生命機能科学専攻	14	9	0	8	31	0	2
（博士課程前期課程）	(14)	(9)	(0)	(8)	(31)	(0)	(2)
生命機能科学専攻	14	9	0	8	31	0	2
（博士課程後期課程）	(14)	(9)	(0)	(8)	(31)	(0)	(2)
研究科共通	0	0	0	0	0	0	4
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(4)
海事科学研究科							
海事科学専攻	38	32	1	3	74	1	2
（博士課程前期課程）	(38)	(32)	(1)	(3)	(74)	(1)	(2)
海事科学専攻	38	29	0	1	68	1	2
（博士課程後期課程）	(38)	(29)	(0)	(1)	(68)	(1)	(2)
研究科共通	0	0	0	0	0	0	11
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(11)
科学技術イノベーション研究科							
科学技術イノベーション専攻	11	3	0	1	15	4	6
（博士課程前期課程）	(11)	(3)	(0)	(1)	(15)	(4)	(6)
科学技術イノベーション専攻	12	2	0	1	15	4	6
（博士課程後期課程）	(12)	(2)	(0)	(1)	(15)	(4)	(6)
研究科共通	0	0	0	0	0	0	21
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(21)
計	980	549	112	205	1846	44	－
	(980)	(549)	(112)	(205)	(1846)	(44)	－
合　　計	1029	573	116	208	1926	44	－
	(1029)	(573)	(116)	(208)	(1926)	(44)	－

職　　種	専　属	その他	計
	人	人	人
事　務　職　員	959 (959)	550 (550)	1509 (1509)
技　術　職　員	1710 (1710)	958 (958)	2668 (2668)
図　書　館　職　員	40 (40)	38 (38)	78 (78)
そ　の　他　の　職　員	7 (7)	96 (96)	103 (103)
指　導　補　助　者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	2716 (2716)	1642 (1642)	4358 (4358)

校地等	区　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	632,733㎡	－㎡	－㎡	632,733㎡	大学全体
	その他	548,236㎡	－㎡	－㎡	548,236㎡	
	合　計	1,180,969㎡	－㎡	－㎡	1,180,969㎡	

校　舎	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	
	369,736㎡	－㎡	－㎡	369,736㎡	大学全体
	(369,736㎡)	(－㎡)	(－㎡)	(369,736㎡)	

講義室等・新設研究科等の専任教員研究室	講義室	実験・実習室	演習室	新設研究科等の専任教員研究室	
	208室	283室	688室	14室	大学全体

図書・設備	新設研究科等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 －　点	標本 －　点	
	医学系研究科 医療経営管理学専攻 （専門職学位課程）	3,753,235〔1,574,643〕 (3,753,235〔1,574,643〕)	52,180〔41,543〕 (52,180〔41,543〕)	45,620〔23,642〕 (45,620〔23,642〕)	38,267〔36,675〕 (38,267〔36,675〕)	12,115 (12,115)	— (—)	研究科単位での特定不能なため，大学全体の数（機械・器具、標本を除く）
	計	3,753,235〔1,574,643〕 (3,753,235〔1,574,643〕)	52,180〔41,543〕 (52,180〔41,543〕)	45,620〔23,642〕 (45,620〔23,642〕)	38,267〔36,675〕 (38,267〔36,675〕)	12,115 (12,115)	— (—)	

経費の見積り及び維持方法の概要

経費の見積り	区　分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	
	教員１人当り研究費等		千円	千円	千円	千円	千円	国費による（運営費交付金）
	共同研究費等		千円	千円	千円	千円	千円	
	図書購入費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	設備購入費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生１人当り納付金			第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	
			千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

既設大学等の状況

大学等の名称：神戸大学

学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地
	年	人	年次 人	人		倍		
〔学部〕								
文学部						1.10 《1.05》		
人文学科	4	100	－	400	学士（文学）		平成13年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1
国際人間科学部						1.08 《1.01》		
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ文化学科	4	140	－	560		1.11 《1.00》	平成29年度	兵庫県神戸市灘区鶴甲1-2-1
発達ｺﾐｭﾆﾃｨ学科	4	100	3年次 5	410	学士（学術）	1.08 《1.03》	平成29年度	兵庫県神戸市灘区鶴甲3-11
環境共生学科	4	80	3年次 3	326		1.05 《1.01》	平成29年度	同上
子ども教育学科	4	50	3年次 2	204	学士（学術又は教育学）	1.02	平成29年度	同上
法学部						1.05		
法律学科	4	180	3年次 20	760	学士（法学）		昭和24年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1
経済学部						1.15 《1.06》		
経済学科	4	270	3年次 20	1120	学士（経済学）		昭和24年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1
経営学部						1.10 《1.02》		
経営学科	4	260	3年次 20	1080	学士（経営学又は商学）		昭和24年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1
理学部						1.09 《1.05》		
数学科	4	28	－	112		1.26 《1.22》	昭和29年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1
物理学科	4	35	－	140		1.22 《1.15》	昭和29年度	同上
化学科	4	30	－	120	学士（理学）	1.13 《1.08》	昭和29年度	同上
生物学科	4	25	－	100		1.16 《1.14》	昭和29年度	同上
惑星学科	4	35	－	140		1.13 《1.10》	平成5年度	同上
学科共通			3年次 25	50				

医学部									
医学科	6	113	2年次 5	699	学士 （医学）	1.01	昭和39年度	兵庫県神戸市中央区楠町7-5-1	
医療創成工学科	4	25		50	学士 （医工学）	1.16	令和7年度	同上	
保健学科	4	150	－			1.03	平成6年度	兵庫県神戸市須磨区友が丘7-10-2	
看護学専攻	4	70	－	300	学士 （看護学）	1.02	平成6年度	同上	令和7年度入学定員減（△10人）
検査技術科学専攻	4	40	－	160	学士 （保健衛生学）	1.06	平成6年度	同上	
理学療法学専攻	4	20	－	80	学士 （保健学）	1.02	平成6年度	同上	
作業療法学専攻	4	20	－	80	学士 （保健学）	1.05	平成6年度	同上	
工学部						1.07 《0.98》			
建築学科	4	90	－	366	学士 （工学）	1.08 《0.97》	平成19年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1	令和7年度入学定員減（△3人）
市民工学科	4	60	－	246		1.08 《1.02》	平成19年度	同上	令和7年度入学定員減（△3人）
電気電子工学科	4	90	－	366		1.12 《1.02》	平成4年度	同上	令和7年度入学定員減（△3人）
機械工学科	4	100	－	406		1.12 《0.99》	平成4年度	同上	令和7年度入学定員減（△3人）
応用化学科	4	103	－	418		1.05 《0.99》	平成4年度	同上	令和7年度入学定員減（△3人）
情報知能工学科	4	－	－	－		－	平成4年度	同上	令和7年度より学生募集停止
学科共通			3年次 20	40					
システム情報学部						1.06			
システム情報学科	4	150		300	学士 （システム情報学）		令和7年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1	
農学部						1.04 《0.99》			
食料環境ｼｽﾃﾑ学科	4	36	－	144	学士 （農学）	1.14 《1.06》	平成20年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1	
資源生命科学科	4	55	－	220		1.07	平成20年度	同上	
生命機能科学科	4	69	－	276		1.05	平成20年度	同上	
学科共通			3年次 10	20					
海洋政策科学部						1.04			
海洋政策科学科	4	200	3年次 10	820	学士 （海洋政策科学又は商船学）		令和3年度	兵庫県神戸市東灘区深江南町5-1-1	
海事科学部						－			
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ輸送科学科	4	－	－	－	学士 （海事科学）	－	平成25年度	兵庫県神戸市東灘区深江南町5-1-1	令和3年度より学生募集停止
海洋安全ｼｽﾃﾑ科学科	4	－	－	－		－	平成25年度	同上	令和3年度より学生募集停止
ﾏﾘﾝｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ学科	4	－	－	－		－	平成25年度	同上	令和3年度より学生募集停止
学科共通			3年次 －	－					

〔大学院〕								
人文学研究科								
文化構造専攻(M)	2	17	―	34	修士（文学）	0.94	平成19年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1
社会動態専攻(M)	2	27	―	54		1.11	平成19年度	同上
文化構造専攻(D)	3	8	―	24	博士（文学又は学術）	1.79	平成19年度	同上
社会動態専攻(D)	3	12	―	36		1.44	平成19年度	同上
国際文化学研究科								
文化相関専攻 (M)	2	18	―	36	修士（学術）	1.25	平成19年度	兵庫県神戸市灘区鶴甲1-2-1
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ文化専攻 (M)	2	29	―	58		1.03	平成19年度	同上
文化相関専攻 (D)	3	6	―	18	博士（学術）	1.22	平成19年度	同上
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ文化専攻 (D)	3	9	―	27		1.29	平成19年度	同上
人間発達環境学研究科								
人間発達専攻(M)	2	51	―	102	修士（学術又は教育学）	0.99	平成25年度	兵庫県神戸市灘区鶴甲3-11
1年履修コース	1	4	―	4		1.50		同上
人間環境学専攻(M)	2	36	―	72	修士（学術又は理学）	1.04	平成19年度	同上
人間発達専攻(D)	3	11	―	33	博士（学術又は教育学）	1.90	平成25年度	同上
人間環境学専攻(D)	3	6	―	18	博士（学術又は理学）	1.72	平成19年度	同上
法学研究科								
法学政治学専攻(M)	2	37	―	74	修士(法学又は政治学)	0.82	平成30年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1
法学政治学専攻(D)	3	18	―	54	博士(法学又は政治学)	0.98	平成30年度	同上
実務法律専攻(P)	3	80	―	240	法務博士（専門職）	0.72	平成16年度	同上
経済学研究科								
経済学専攻 (M)	2	83	―	166	修士（経済学）	1.05	平成20年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1
経済学専攻 (D)	3	20	―	60	博士（経済学）	1.25	平成20年度	同上
経営学研究科								
経営学専攻 (M)	2	51	―	102	修士（経営学又は商学）	1.03	平成24年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1
経営学専攻 (D)	3	32	―	96	博士（経営学又は商学）	1.10	平成24年度	同上
現代経営学専攻(P)	2	69	―	138	経営学修士（専門職）	1.02	平成14年度	同上

理学研究科								
数学専攻(M)	2	22	―	44	修士（理学）	1.18	平成19年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1
物理学専攻(M)	2	24	―	48		1.14	平成19年度	同上
化学専攻(M)	2	28	―	56		1.08	平成19年度	同上
生物学専攻(M)	2	24	―	48		1.06	平成19年度	同上
惑星学専攻(M)	2	24	―	48		1.08	平成27年度	同上
数学専攻(D)	3	4	―	12	博士（理学又は学術）	0.83	平成19年度	同上
物理学専攻(D)	3	5	―	15		0.80	平成19年度	同上
化学専攻(D)	3	6	―	18		1.16	平成19年度	同上
生物学専攻(D)	3	6	―	18		0.77	平成19年度	同上
惑星学専攻(D)	3	6	―	18		0.77	平成27年度	同上
医学系研究科								
医科学専攻(D)	4	120	―	120	博士（医学）	―	令和8年度	兵庫県神戸市中央区楠町7-5-1
先進生命医科学系専攻(M)	2	119	―	119	修士（ﾊﾞｲｵﾒﾃﾞｨｶﾙｻｲｴﾝｽ又は医工学又は保健学又は公衆衛生学）	―	令和8年度	兵庫県神戸市中央区楠町7丁目5-1 兵庫県神戸市中央区港島南町1-5-1 兵庫県神戸市須磨区友が丘7丁目10-2
医療創成工学専攻(D)	3	8	―	8	博士（医工学）	―	令和8年度	兵庫県神戸市中央区楠町7-5-1
健康科学専攻(D)	3	17	―	17	博士（保健学）	―	令和8年度	兵庫県神戸市須磨区友が丘7-10-2
未来社会医学専攻(D)	3	5	―	5	博士（公衆衛生学）	―	令和8年度	兵庫県神戸市中央区楠町7-5-1 兵庫県神戸市須磨区友が丘7-10-2
医学研究科								
ﾊﾞｲｵﾒﾃﾞｨｶﾙｻｲｴﾝｽ専攻(M)	2	25	―	25	修士（ﾊﾞｲｵﾒﾃﾞｨｶﾙｻｲｴﾝｽ）	0.74	平成13年度	兵庫県神戸市中央区楠町7-5-1	令和8年度より学生募集停止
医療創成工学専攻(M)	2	15	―	15	修士（医工学）	1.33	令和5年度	同上	令和8年度より学生募集停止
医科学専攻(D)	4	120	―	340	博士（医学）	1.20	平成13年度	同上	令和6年度入学定員増（20人） 令和8年度より学生募集停止
医療創成工学専攻(D)	3	8	―	16	博士（医工学）	1.20	令和5年度	同上	令和8年度より学生募集停止
保健学研究科								
保健学専攻(M)	2	79	―	79	修士（保健学）	0.99	平成20年度	兵庫県神戸市須磨区友が丘7-10-2	令和8年度より学生募集停止
保健学専攻(D)	3	25	―	50	博士（保健学）	1.70	平成20年度	同上	令和8年度より学生募集停止

工学研究科									
建築学専攻(M)	2	64	―	128	修士（工学）	1.05	平成19年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1	
市民工学専攻(M)	2	42	―	84	修士（工学）	1.00	平成19年度	同上	
電気電子工学専攻(M)	2	64	―	128	修士（工学）	1.10	平成19年度	同上	
機械工学専攻(M)	2	76	―	152	修士（工学）	0.99	平成19年度	同上	
応用化学専攻(M)	2	70	―	140	修士（工学）	1.05	平成19年度	同上	
建築学専攻(D)	3	8	―	24	博士（工学又は学術）	0.83	平成19年度	同上	
市民工学専攻(D)	3	6	―	18	博士（工学又は学術）	1.00	平成19年度	同上	
電気電子工学専攻(D)	3	8	―	24	博士（工学又は学術）	0.79	平成19年度	同上	
機械工学専攻(D)	3	10	―	30	博士（工学又は学術）	0.63	平成19年度	同上	
応用化学専攻(D)	3	10	―	30	博士（工学又は学術）	1.23	平成19年度	同上	
システム情報学研究科									
システム情報学専攻（M）	2	103	―	206	修士（システム情報学又は工学）	1.01	令和5年度	同上	令和7年度入学定員増（8人）
システム科学専攻(D)	3	―	―	―	博士（システム情報学、工学又は学術）	―	平成22年度	同上	令和5年度より学生募集停止
情報科学専攻(D)	3	―	―	―	博士（システム情報学、工学又は学術）	―	平成22年度	同上	令和5年度より学生募集停止
計算科学専攻(D)	3	―	―	―	博士（システム情報学、工学又は学術）	―	平成22年度	同上	令和5年度より学生募集停止
システム情報学専攻（D）	3	12	―	36	博士（システム情報学、工学、計算科学又は学術）	1.08	令和5年度	同上	
農学研究科									
食料共生ｼｽﾃﾑ学専攻(M)	2	28	―	54	修士（農学）	1.19	平成19年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1	令和8年度入学定員増（2人）
資源生命科学専攻(M)	2	46	―	88	修士（農学）	1.08	平成19年度	同上	令和8年度入学定員増（4人）
生命機能科学専攻(M)	2	58	―	110	修士（農学）	1.06	平成19年度	同上	令和8年度入学定員増（6人）
食料共生ｼｽﾃﾑ学専攻(D)	3	5	―	15	博士（農学又は学術）	1.20	平成19年度	同上	
資源生命科学専攻(D)	3	8	―	24	博士（農学又は学術）	1.00	平成19年度	同上	
生命機能科学専攻(D)	3	10	―	30	博士（農学又は学術）	0.70	平成19年度	同上	
海事科学研究科									
海事科学専攻(M)	2	75	―	150	修士（海事科学）	1.13	平成19年度	兵庫県神戸市東灘区深江南町5-1-1	
海事科学専攻(D)	3	11	―	33	博士（海事科学、工学又は学術）	1.24	平成19年度	同上	

国際協力研究科								
国際開発政策専攻(M)	2	26	―	52	修士（国際学又は経済学）	0.94	平成4年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1
国際協力政策専攻(M)	2	22	―	44	修士（国際学、法学又は政治学）	1.27	平成5年度	同上
地域協力政策専攻(M)	2	22	―	44	修士（国際学、法学又は経済学）	0.75	平成6年度	同上
国際開発政策専攻(D)	3	8	―	24	博士（学術又は経済学）	0.29	平成7年度	同上
国際協力政策専攻(D)	3	7	―	21	博士（学術、法学又は政治学）	1.14	平成7年度	同上
地域協力政策専攻(D)	3	8	―	24	博士（学術、法学又は経済学）	1.70	平成8年度	同上
科学技術ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ研究科								
科学技術ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ専攻(M)	2	40	―	80	修士（科学技術ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ）	1.03	平成28年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1
科学技術ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ専攻(D)	3	10	―	30	博士（科学技術ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ）	1.36	平成30年度	同上

附属施設の概要	名　　称：経済経営研究所 目　　的：経済及び経営に関する総合研究 所 在 地：兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1 設置年月：昭和 24 年 5 月 規 模 等：土地 103,097 ㎡，建物 4,984 ㎡	※同一敷地・建物内にあるため土地・建物面積は合計を示す。
	名　　称：経済経営研究所附属企業資料総合センター 目　　的：企業及び産業に関する文献等の総合的収集，整備 所 在 地：兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1 設置年月：平成 22 年 4 月 規 模 等：土地 103,097 ㎡，建物 4,984 ㎡	
	名　　称：附属図書館 目　　的：学術発展への寄与 所 在 地：兵庫県神戸市灘区六甲台町2-1 設置年月：昭和 24 年 5 月 規 模 等：土地 ― ㎡，建物 27,263 ㎡	※各キャンパス毎に設置されているため、土地の面積は集計不可。
	名　　称：医学部附属病院 目　　的：医学の教育研究及び診療 所 在 地：兵庫県神戸市中央区楠町7丁目5-2 設置年月：昭和 42 年 6 月 規 模 等：土地 41,181 ㎡，建物 107,739 ㎡	
	名　　称：医学部附属病院国際がん医療・研究センター 目　　的：医学の教育研究及び診療 所 在 地：兵庫県神戸市中央区港島南町1丁目5-1 設置年月：平成 31 年 3 月 規 模 等：土地 6,395 ㎡，建物 16,426 ㎡	※土地は借上を示す。
	名　　称：医学系研究科附属動物実験施設（医学系研究科・医学部内） 目　　的：動物実験の実施による教育研究 所 在 地：兵庫県神戸市中央区楠町7丁目5-1 設置年月：平成 21 年 4 月 規 模 等：土地 8,665 ㎡，建物 34,926 ㎡（医学系研究科・医学部を含む）	※同一敷地・建物内にあるため土地・建物面積は合計を示す。
	名　　称：医学系研究科附属感染症センター（医学系研究科・医学部内） 目　　的：感染症に関する研究及び臨床教育 所 在 地：兵庫県神戸市中央区楠町7丁目5-1 設置年月：平成 21 年 4 月 規 模 等：土地 8,665 ㎡，建物 34,926 ㎡（医学系研究科・医学部を含む）	
	名　　称：海事科学研究科附属国際海事研究センター（海事科学研究科・海洋政策科学部内） 目　　的：海事に関する総合的かつ先端的な研究 所 在 地：兵庫県神戸市東灘区深江南町5丁目1-1 設置年月：平成 21 年 10 月 規 模 等：土地 94,547 ㎡，建物 41,681 ㎡（海事科学研究科・海洋政策科学部を含む）	
	名　　称：海事科学研究科附属練習船海神丸 目　　的：船舶による実験，実習及び学術研究並びに共同利用 所 在 地：兵庫県神戸市東灘区深江南町5丁目1-1 設置年月：令和 4 年 3 月 規 模 等：総トン数 889 トン	

	名　　称：農学研究科附属食資源教育研究センター 目　　的：動植物資源開発から生産までに関わる実学の教育研究及び実習 所 在 地：兵庫県加西市鶉野町1348 設置年月：平成 19 年 4 月 規 模 等：土地 403,787 ㎡，建物 7,063 ㎡	
	名　　称：内海域環境教育研究センターマリンサイト 目　　的：内海域における自然環境及び環境保全に関する教育，研究 所 在 地：兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 設置年月：平成 15 年 10 月 規 模 等：土地 3,122 ㎡，建物 1,183 ㎡	
	名　　称：附属幼稚園 目　　的：幼稚園における教育及び研究 所 在 地：兵庫県明石市山下町3-4 設置年月：平成 21 年 4 月 規 模 等：土地 27,945 ㎡，建物 1,236 ㎡	※同一敷地内にあるため土地面積は合計を示す。
	名　　称：附属小学校 目　　的：小学校における教育及び研究 所 在 地：兵庫県明石市山下町3-4 設置年月：平成 21 年 4 月 規 模 等：土地 27,945 ㎡，建物 4,219 ㎡	
	名　　称：附属中等教育学校 目　　的：中等教育学校における教育及び研究 所 在 地：兵庫県神戸市東灘区住吉山手5丁目11-1 設置年月：平成 21 年 4 月 規 模 等：土地 29,185 ㎡，建物 11,843 ㎡	
	名　　称：附属特別支援学校 目　　的：特別支援学校における教育及び研究 所 在 地：兵庫県明石市大久保町大窪2752-4 設置年月：平成 21 年 4 月 規 模 等：土地 16,652 ㎡，建物 3,642 ㎡	

国立大学法人神戸大学　設置認可等に関わる組織の移行表

令和８年度	入学定員	編入学定員	収容定員	令和９年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
神戸大学				神戸大学				
文学部				文学部				
人文学科	100		400	人文学科	100		400	
国際人間科学部		3年次		国際人間科学部		3年次		
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ文化学科	140		560	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ文化学科	140		560	
発達ｺﾐｭﾆﾃｨ学科	100	2	404	発達ｺﾐｭﾆﾃｨ学科	100	2	404	
環境共生学科	80	3	326	環境共生学科	80	3	326	
子ども教育学科	50	－	200	子ども教育学科	50	－	200	
法学部		3年次		法学部		3年次		
法律学科	180	20	760	法律学科	180	20	760	
経済学部		3年次		経済学部		3年次		
経済学科	270	20	1,120	経済学科	270	20	1,120	
経営学部		3年次		経営学部		3年次		
経営学科	260	20	1,080	経営学科	260	20	1,080	
理学部		3年次		理学部		3年次		
数学科	28		112	数学科	28		112	
物理学科	35		140	物理学科	35		140	
化学科	30		120	化学科	30		120	
生物学科	25		100	生物学科	25		100	
惑星学科	35		140	惑星学科	35		140	
学科共通		25	50	学科共通		25	50	
医学部		2年次		医学部		2年次		
医学科	113	5	699	医学科	112	5	637	※R9年度における臨時定員（地域枠10人、研究医枠2人）
		3年次				3年次		
医療創成工学科	25	5	110	医療創成工学科	25	5	110	
保健学科	150		600	保健学科	150		600	
工学部		3年次		工学部		3年次		
建築学科	90	3	366	建築学科	90	3	366	
市民工学科	60	3	246	市民工学科	60	3	246	
電気電子工学科	90	4	368	電気電子工学科	90	4	368	
機械工学科	100	4	408	機械工学科	100	4	408	
応用化学科	103	3	418	応用化学科	103	3	418	
情報知能工学科	－	－	－	情報知能工学科	－	－	－	
学科共通	－	－	－	学科共通	－	－	－	
システム情報学部		3年次		システム情報学部		3年次		
システム情報学科	150	3	606	システム情報学科	150	3	606	
農学部		3年次		農学部		3年次		
食料環境ｼｽﾃﾑ学科	36		144	食料環境ｼｽﾃﾑ学科	36		144	
資源生命科学科	55		220	資源生命科学科	55		220	
生命機能科学科	69		276	生命機能科学科	69		276	
学科共通		10	20	学科共通		10	20	
海事科学部				海事科学部				
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ輸送科学科	－	－	－	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ輸送科学科	－	－	－	
海洋安全ｼｽﾃﾑ科学科	－	－	－	海洋安全ｼｽﾃﾑ科学科	－	－	－	
ﾏﾘﾝｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ学科	－	－	－	ﾏﾘﾝｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ学科	－	－	－	
学科共通	－	－	－	学科共通	－	－	－	
海洋政策科学部		3年次		海洋政策科学部		3年次		
海洋政策科学科	200	10	820	海洋政策科学科	200	10	820	
		2年次				2年次		
		5				5		
計	2,574		10,813	計	2,573		10,751	
		3年次				3年次		
		135				135		

令和８年度	入学定員	編入学定員	収容定員	令和９年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
神戸大学大学院				神戸大学大学院				
人文学研究科				人文学研究科				
文化構造専攻(M)	17	-	34	文化構造専攻(M)	17	-	34	
文化構造専攻(D)	8	-	24	文化構造専攻(D)	8	-	24	
社会動態専攻(M)	27	-	54	社会動態専攻(M)	27	-	54	
社会動態専攻(D)	12	-	36	社会動態専攻(D)	12	-	36	
国際文化学研究科				国際文化学研究科				
文化相関専攻(M)	18	-	36	文化相関専攻(M)	18	-	36	
文化相関専攻(D)	6	-	18	文化相関専攻(D)	6	-	18	
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ文化専攻(M)	29	-	58	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ文化専攻(M)	29	-	58	
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ文化専攻(D)	9	-	27	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ文化専攻(D)	9	-	27	
人間発達環境学研究科				人間発達環境学研究科				
人間発達専攻(M)	55	-	106	人間発達専攻(M)	55	-	106	
(1年履修コースを含む)				(1年履修コースを含む)				
人間発達専攻(D)	11	-	33	人間発達専攻(D)	11	-	33	
人間環境学専攻(M)	36	-	72	人間環境学専攻(M)	36	-	72	
人間環境学専攻(D)	6	-	18	人間環境学専攻(D)	6	-	18	
法学研究科				法学研究科				
法学政治学専攻(M)	37	-	74	法学政治学専攻(M)	37	-	74	
法学政治学専攻(D)	18	-	54	法学政治学専攻(D)	18	-	54	
実務法律専攻(P)	80	-	240	実務法律専攻(P)	80	-	240	
経済学研究科				経済学研究科				
経済学専攻(M)	83	-	166	経済学専攻(M)	68	-	136	定員変更（△15）
				経済数理データ科学専攻(M)	15	-	30	専攻の設置（事前相談）
経済学専攻(D)	20	-	60	経済学専攻(D)	20	-	60	
経営学研究科				経営学研究科				
経営学専攻(M)	51	-	102	経営学専攻(M)	51	-	102	
経営学専攻(D)	32	-	96	経営学専攻(D)	32	-	96	
現代経営学専攻(P)	69	-	138	現代経営学専攻(P)	69	-	138	
理学研究科				理学研究科				
数学専攻(M)	22	-	44	数学専攻(M)	22	-	44	
数学専攻(D)	4	-	12	数学専攻(D)	4	-	12	
物理学専攻(M)	24	-	48	物理学専攻(M)	24	-	48	
物理学専攻(D)	5	-	15	物理学専攻(D)	5	-	15	
化学専攻(M)	28	-	56	化学専攻(M)	28	-	56	
化学専攻(D)	6	-	18	化学専攻(D)	6	-	18	
生物学専攻(M)	24	-	48	生物学専攻(M)	24	-	48	
生物学専攻(D)	6	-	18	生物学専攻(D)	6	-	18	
惑星学専攻(M)	24	-	48	惑星学専攻(M)	24	-	48	
惑星学専攻(D)	6	-	18	惑星学専攻(D)	6	-	18	
医学研究科				医系研究科				
ﾊﾞｲｵﾒﾃﾞｨｶﾙｻｲｴﾝｽ専攻(M)	-	-	-	ﾊﾞｲｵﾒﾃﾞｨｶﾙｻｲｴﾝｽ専攻(M)	-	-	-	
医科学専攻(D)	-	-	-	医科学専攻(D)	-	-	-	
医療創成工学専攻(M)	-	-	-	医療創成工学専攻(M)	-	-	-	
医療創成工学専攻(D)	-	-	-	医療創成工学専攻(D)	-	-	-	
医学系研究科				医学系研究科				
医科学専攻(D)	120	－	480	医科学専攻(D)	120	－	480	
先進生命医科学系専攻(M)	119	－	238	先進生命医科学系専攻(M)	119	－	238	
医療創成工学専攻(D)	8	－	24	医療創成工学専攻(D)	8	－	24	
健康科学専攻(D)	17	－	51	健康科学専攻(D)	17	－	51	
未来社会医学専攻(D)	5	－	15	未来社会医学専攻(D)	5	－	15	
				医療経営管理学専攻(P)	10	－	20	専攻の設置（意見伺い）
保健学研究科				保健学研究科				
保健学専攻(M)	-	-	-	保健学専攻(M)	-	-	-	
保健学専攻(D)	-	-	-	保健学専攻(D)	-	-	-	
工学研究科				工学研究科				
建築学専攻(M)	64	-	128	建築学専攻(M)	64	-	128	
建築学専攻(D)	8	-	24	建築学専攻(D)	8	-	24	
市民工学専攻(M)	42	-	84	市民工学専攻(M)	42	-	84	
市民工学専攻(D)	6	-	18	市民工学専攻(D)	6	-	18	
電気電子工学専攻(M)	64	-	128	電気電子工学専攻(M)	64	-	128	
電気電子工学専攻(D)	8	-	24	電気電子工学専攻(D)	8	-	24	
機械工学専攻(M)	76	-	152	機械工学専攻(M)	76	-	152	
機械工学専攻(D)	10	-	30	機械工学専攻(D)	10	-	30	
応用化学専攻(M)	70	-	140	応用化学専攻(M)	70	-	140	
応用化学専攻(D)	10	-	30	応用化学専攻(D)	10	-	30	
システム情報学研究科				システム情報学研究科				
システム科学専攻(D)	-	-	-	システム科学専攻(D)	-	-	-	
情報科学専攻(D)	-	-	-	情報科学専攻(D)	-	-	-	
計算科学専攻(D)	-	-	-	計算科学専攻(D)	-	-	-	
システム情報学専攻(M)	103	-	206	システム情報学専攻(M)	103	-	206	
システム情報学専攻(D)	12	-	36	システム情報学専攻(D)	12	-	36	
農学研究科				農学研究科				
食料共生ｼｽﾃﾑ学専攻(M)	28	-	56	食料共生ｼｽﾃﾑ学専攻(M)	28	-	56	
食料共生ｼｽﾃﾑ学専攻(D)	5	-	15	食料共生ｼｽﾃﾑ学専攻(D)	5	-	15	
資源生命科学専攻(M)	46	-	92	資源生命科学専攻(M)	46	-	92	
資源生命科学専攻(D)	8	-	24	資源生命科学専攻(D)	8	-	24	
生命機能科学専攻(M)	58	-	116	生命機能科学専攻(M)	58	-	116	
生命機能科学専攻(D)	10	-	30	生命機能科学専攻(D)	10	-	30	
海事科学研究科				海事科学研究科				
海事科学専攻(M)	75	-	150	海事科学専攻(M)	75	-	150	
海事科学専攻(D)	11	-	33	海事科学専攻(D)	11	-	33	
国際協力研究科				国際協力研究科				
国際開発政策専攻(M)	26	-	52	国際開発政策専攻(M)	0	-	0	令和9年4月学生募集停止
国際開発政策専攻(D)	8	-	24	国際開発政策専攻(D)	0	-	0	令和9年4月学生募集停止
国際協力政策専攻(M)	22	-	44	国際協力政策専攻(M)	0	-	0	令和9年4月学生募集停止
国際協力政策専攻(D)	7	-	21	国際協力政策専攻(D)	0	-	0	令和9年4月学生募集停止
地域協力政策専攻(M)	22	-	44	地域協力政策専攻(M)	0	-	0	令和9年4月学生募集停止
地域協力政策専攻(D)	8	-	24	地域協力政策専攻(D)	0	-	0	令和9年4月学生募集停止
				国際協力専攻(M)	70	-	140	専攻の設置（事前相談）
				国際協力専攻(D)	23	-	69	専攻の設置（事前相談）
科学技術イノベーション研究科				科学技術イノベーション研究科				
科学技術ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ専攻(M)	40	-	80	科学技術ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ専攻(M)	40	-	80	
科学技術ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ専攻(D)	10	-	30	科学技術ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ専攻(D)	10	-	30	
計	1,899		4,414	計	1,909		4,434	

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学系研究科専門職学位課程医療経営管理学専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
医療経営基礎科目	医療倫理	1前		1			○			1			1		1	オムニバス
	医療コミュニケーション	1前		1			○			1						
	医療プロフェッショナリズム	1前		1			○			1					2	オムニバス
	医療の質・安全管理	1後		1			○			2					2	オムニバス
	経営学基礎	1前			1		○			2	2	1				オムニバス
	医学・医療基礎	1前			1		○			3	1					オムニバス
	小計（6科目）		－	4	2	0	－			9	3	1	1	0	5	
病院管理・医療マネジメント科目	医療管理総論	1前		1			○			3	1					オムニバス
	保険医療・診療情報管理	1前		1			○			2					1	オムニバス
	医療統計学基礎	1前		1			○			1	1					オムニバス
	医療関連法	1前		1			○			1			1			オムニバス
	病院危機管理特論	1前			1		○			1			1		1	オムニバス
	医療人材管理	1後		1			○			1	1		1		1	オムニバス
	公共医療政策	1後		1			○			1					1	オムニバス
	会計管理学基礎	1後		2			○				1					
	病院経営管理	1後		2			○			1						
	小計（9科目）		－	10	1	0	－			6	3	0	1	0	2	
病院管理・医療マネジメント実践科目	クリニカルパス特論	1前			1		○						1			
	医療情報解析演習	1前			1			○					1			
	医療マーケティング・ブランディング演習	1後			1			○		1						
	病院マネジメント管理特論	1後			1		○			3	1				1	オムニバス
	医療事業継続計画策定演習	2前		1				○			1				2	オムニバス
	地域医療・地域包括ケア特論	1後			1		○			1	1				1	オムニバス
	災害危機管理医学	2前			1		○			1					2	オムニバス
	医療経営・病院管理演習	2前		1				○			1					
	医療データ分析演習	2前			2			○				1				
	医療人材育成	2前		1				○		1					3	オムニバス
	小計（10科目）		－	3	8	0	－			7	4	1	2		9	
医療情報専門科目	医療デジタル戦略概論	1後		2			○			1						
	医療情報・経営戦略	1後		1			○					1				
	医療情報安全管理特論	2前			1		○				1					
	課題解決型特別研究1	1通		2				○		18	4	1	3			
	小計（4科目）		－	5	1	0	－			18	4	1	3	0	0	
情報・経営統合戦略実践科目	診療報酬・施設基準管理実践	1後			1		○				1		1		2	オムニバス
	医療経営学実践演習	2前			1			○		1	1				1	オムニバス
	医療情報活用実践演習	1後		1				○			1					
	医療情報技術各論	2前			2		○			1						
	課題解決型特別研究2	2前		2				○		18	4	1	3			
	小計（5科目）		－	3	4	0	－			18	4	1	3	0	3	
合計（34科目）		－	－	25	16	0	－			18	4	1	3	0	17	

学位又は称号	医療経営管理学修士（専門職）	学位又は学科の分野	医学関係

卒業・修了要件及び履修方法	授業期間等	
１年半以上在学し，履修要件に従って30単位以上修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上で，研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。	１学年の学期区分	２期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業の標準時間	90分

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（医学系研究科専門職学位課程医療経営管理学専攻）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
医療経営基礎科目	医療倫理		医療組織は，医療を提供するだけでなく，研究機関や公衆衛生を支える公的機関の側面を有する。医療組織の管理者は，広く専門職倫理，研究倫理，臨床倫理，公衆衛生倫理の知識を有し，組織としての倫理的意思決定を行う必要がある。そのために，表面的な知識ではなく，理論に裏付けられた実際に思考にするためのツールとしての医療倫理を修得することを目的とする。 授業は，講義と講義内容に対応したスモールグループディスカッション（SGD）の組み合わせで実施される。 第１回：ガイダンス，倫理理論　（△３ 瀧本　禎之，26 中澤 栄輔） 第２回：倫理原則　（△３ 瀧本　禎之） 第３回：倫理綱領と職業倫理　（△10 及川 正範） 第４回：研究倫理　（△10　及川 正範） 第５回：臨床倫理（１）（△３ 瀧本　禎之） 第６回：臨床倫理（２）（△３ 瀧本　禎之） 第７回：公衆衛生倫理　（△10 及川　正範） 第８回：倫理的意思決定　（△３ 瀧本　禎之）	オムニバス
	医療コミュニケーション		基本的なコミュニケーション手法を学び，対患者だけでなく対職員(上司・部下・同僚)との関係を良好に保つために必要な，多職種連携が必須な医療機関の人材として求められるコミュニケーションスキル，さらには病診療・病病連携等で必要な要点を学ぶ。 各授業のテーマとしては，患者・利用者・医療機関・行政等との医療コミュニケーション，部門内外における医療コミュニケーション，メンタリング，ハラスメント等について取り扱う。	
	医療プロフェッショナリズム		医療プロフェッショナリズムの意義を，患者中心の医療（患者視点と利他の姿勢），責任感，倫理，社会貢献，生涯学習，チーム医療，リーダーシップ等の側面から学ぶ。医療機関の専門職・管理職として必要な知識・態度・倫理観を身につけ，学んだ内容を自身の職務や組織運営(医療マネジメント)に応用できる。 第１回： ガイダンス，病院管理学の概論　（△19 築部　卓郎） 第２回： 経営組織と医療組織（１）― 官僚制と医療プロフェッショナリズム　（△19 築部　卓郎） 第３回： 経営組織と医療組織（２）― Non-ProfitとProfit組織の比較（19 松尾　貴巳） 第４回： 医療組織と高信頼性― 医療プロフェッショナリズムの深化　（19 松尾　貴巳） 第５回： 医療組織における学習とリーダーシップ（１）（30 松尾　睦） 第６回： 医療組織における学習とリーダーシップ（２）（30 松尾　睦） 第７回： 医療機関のトップマネージャーに必要な医療プロフェッショナリズム　（19 松尾　貴巳） 第８回： 総括　（△19 築部　卓郎）	オムニバス

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（医学系研究科専門職学位課程医療経営管理学専攻）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
医療経営基礎科目	医療の質・安全管理		医療経営の変革を主導する人材を育成するためには，医療の質を担保するとともに，医療安全管理についても精通することが求められる。 本講義においては，TQM，ISO規格，JCI認証，医療機能評価，クリニカルパス等の医療の質を担保する仕組み及びそれらの活用について，また，医療安全管理に関しては，医療事故対応，リスクマネージメントに加え，BCP対策についても具体的事例を中心に学ぶ。 第１回：ガイダンス，医療の質・医療安全管理総論　（△16 三宅　秀明） 第２回：医療の質担保を目指した取組　（△16 三宅　秀明） 第３回：クリニカルパスの意義　（△27 勝尾　信一） 第４回：医療事故①：基本的事項　（㉑ 末原　知美） 第５回：医療事故②：看護部門における具体例を中心に。（△６ 松岡　広） 第６回：医療事故③：薬剤部門における具体例を中心に。（△６ 松岡　広） 第７回：医療事故④：臨床工学部門における具体例を中心に。（△６ 松岡　広） 第８回：医療におけるBCP（△16 三宅　秀明）	オムニバス
	経営学基礎		医療経営・管理の諸分野に取り組むための前段階として，経営学の基礎を学修し，主に組織，戦略，人的資源管理，ガバナンス，社会的責任，広報，マーケティング，会計，ファイナンス，経営分析に関する基礎知識を身に付けることで，医療経営・管理に対する問題意識を高め，その専門的な学修を行う際に企業経営と対比させながら検討できるようになることを目指す。 第１回：ガイダンス，経営学の全体像とその対象としての企業（⑤ 廣橋　祥，⑥ 山﨑　竜弥）（遠隔授業） 第２回：経営組織における戦略と人的資源管理（⑥ 山﨑　竜弥） 第３回：ガバナンスと社会的責任（⑥ 山﨑　竜弥）　（遠隔授業） 第４回：広報とマーケティング（△21 綿貫　真也）　（遠隔授業） 第５回：会計とファイナンス（⑤ 廣橋　祥）　（遠隔授業） 第６回：企業経営と医療経営の違い（△22 門脇　康通）（遠隔授 第７回：医療政策の動向を踏まえた病院経営（△11 笠松　淳也） 第８回：経営分析，総括（⑤ 廣橋　祥）	オムニバス
	医学・医療基礎		医学・医療の諸分野に取り組むための前段階として，医学・医療の基礎的な知識を学修して身に付けることで，医療経営・管理に対する問題意識を高め，その専門的な学修を行う際に生かすことができるようにする。 また，各学生が，自身が勤務する医療・介護施設等または神戸大学医学部附属病院の成り立ちや特徴と運営上の問題点をまとめたレポートを作成し，発表やディスカッションをすることで，医療経営・管理に関する実践的な学びにつなげるようにする。 第１回：ガイダンス，医学・医療の歴史　（△７ 山本　泰司） 第２回：本邦における医療制度と諸外国との違い　（△14 酒井良忠） 第３回：医療専門職種と関連法律　（△２ 髙岡　裕） 第４回：医療用語と略語，電子カルテの読み方　（△７ 山本　泰司） 第５回：診断と治療　（△７ 山本　泰司） 第６回：各診療科・部門の役割　（△７ 山本　泰司） 第７回：病院・診療所におけるデジタル技術とその利用の実際（△17　宮田　吉晴） 第８回：レポート発表とグループディスカッション　（△７ 山本　泰司）	オムニバス

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（医学系研究科専門職学位課程医療経営管理学専攻）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
病院管理・医療マネジメント科目	医療管理総論		新たな地域医療構想を踏まえた医療サービス提供と経営の両面を総合的・統合的に理解し，医療の質向上，効率的な業務運営，コスト管理，患者満足度向上等に繋がる医療経営管理の全体像，医療経営に必要な知識を修得する。その上で，自院・現場に結び付けて，具体的かつ論理的に考察できるようになる。 第１回：ガイダンス，医療管理とは何か ― 現場から考えるマネジメント（△15 眞庭　謙昌） 第２回：日本の医療制度と経営環境　（△11 笠松　淳也） 第３回：病院経営と組織マネジメント（△15 眞庭　謙昌） 第４回：人材マネジメントとチームビルディング（△15 眞庭　謙昌） 第５回：医療の質管理と患者安全マネジメント（△６ 松岡　広） 第６回：医療機関の財務・経営分析の基礎　（△15 眞庭　謙昌） 第７回：医療情報と経営データ活用　（△17 宮田　吉晴） 第８回：総括・試験　（△15 眞庭　謙昌）	オムニバス
	保険医療・診療情報管理		診療報酬制度を中心とする保険医療制度とそのルールを学び，病院の運営の中で必要となるカルテ監査や勤務管理等の医事業務について理解する。 特に，診療録記載等の診療情報管理と指導や監査等への医療機関の対応も含めて，統合的に理解し病院経営の基盤となる内容を学修する。 また，グループワークでは，各学生が事前に整理したレポートを基に，社会保障制度や診療報酬制度を踏まえた病院経営戦略について議論することで，医療経営・管理に関する実践的な学びにつなげるようにする。 第１回：ガイダンス，医療従事者が病院経営を学ぶ意義について（△11 笠松　淳也） 第２回：診療報酬点数表について①（△11 笠松　淳也） 第３回：診療報酬点数表について②，診療報酬請求の流れについて（△11 笠松　淳也） 第４回：令和△11年度診療報酬改定にみる，診療報酬の動向について（△11 笠松　淳也） 第５回：指導監査とカルテ監査について（△２ 髙岡　裕，△11 笠松　淳也） 第６回：令和８年度診療報酬改定にみる，社会保障政策と診療報酬改定に関する政策動向について（△11 笠松　淳也） 第７回：社会保障政策と診療報酬改定を踏まえた病院経営について（ワークショップ①）（27 名越　究，△11 笠松　淳也） 第８回：社会保障政策と診療報酬改定を踏まえた病院経営について（ワークショップ②）（△11 笠松　淳也，27 名越　究）	オムニバス
	医療統計学基礎		医療に関する基本的統計知識を修得することで，統計学の基礎から応用を学び，これらの方法論を利用できるスキルを身に付けることを目標とする。 第１回：ガイダンス，医療DXと統計学の役割（総論）（△５ 中村　恵宣） 第２回：基本統計量と信頼区間　（△８ 岡﨑　賢志） 第３回：連続変数とP値の有用性　（△８ 岡﨑　賢志） 第４回：統計解釈と多重比較　（△５ 中村　恵宣） 第５回：統計学的検定法　（△５ 中村　恵宣） 第６回：データとモデルの適合　（△５ 中村　恵宣） 第７回：医療データの活用とAIへの橋渡し（△５ 中村　恵宣） 第８回：総括・試験　（△５ 中村　恵宣）	オムニバス

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（医学系研究科専門職学位課程医療経営管理学専攻）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
病院管理・医療マネジメント科目	医療関連法		病院の経営や実務に必要な医療法や医師法等を中心とする社会保障や医療関連の法体系に関する知識や公用文の書き方を学修する。また，医療計画や医師確保等の医療政策について学修する。さらに，患者等情報の保護や利活用について，個人情報保護法等の法制度と政策動向について学修する。 これにより，法体系と法遵守について理解するとともに，医療提供や患者情報等の利活用に関する法制度について理解する。 なお，自らの地域の人口構造や医療・介護ニーズの将来推計，医療と介護の連携について，公開データ等を用いた理解と分析の方法についても教授する。 第１回：ガイダンス，医療領域で法律を学ぶ意義について　（△11 笠松　淳也） 第２回：医療法について①（△11 笠松　淳也） 第３回：医療法について②（△11 笠松　淳也） 第４回：医師法等の資格法について（△11 笠松　淳也） 第５回：医療に関連する法制度について①（△11 笠松　淳也） 第６回：医療に関連する法制度について②（△11 笠松　淳也） 第７回：医療法に基づく立入検査について（△９ 大田　美香） 第８回：医療の電子化及び公用文について（△11 笠松　淳也）	オムニバス
	病院危機管理特論		本講義では，危機管理の実践経験者から，サイバーセキュリティや情報漏洩等の医療情報に関する危機管理の基礎知識を得た上で，教員が実際に対応した危機管理事例（病院情報システムトラブルと患者情報漏洩）をケーススタディとして医療機関の対応をテーマに学修する。この学びにより，病院情報システムトラブルと患者情報漏洩への対応策が策定可能になることを目標とする。 第１回：講義ガイダンスとリスク管理概論（△２ 髙岡　裕） 第２回：医療機関における危機管理の考え方（△２ 髙岡　裕） 第３回：サイバーセキュリティ対応の実践□（△２ 髙岡　裕） 第４回：病院情報システム停止の障害（△26 菅野　亜紀） 第５回：患者情報の保護と漏洩（△９ 大田　美香）□ 第６回：病院情報システム停止及び患者情報漏洩の実際（△２ 髙岡　裕）□ 第７回：プレスリリース・記者会見・配布資料（△２ 髙岡　裕）□ 第８回：作成した危機管理マニュアルの発表（△２ 髙岡　裕）□	オムニバス
	医療人材管理		医療機関は，多様な部門，多様な人材が共通の目標に向かって取組を進める。個々の専門性を活かしチームとして能力を発揮し，組織の理念と目標の達成を目指し運営するためには，人材管理とプロジェクトマネジメントが□体となった動的運営が望まれる。そこで，その中心的要素となる人材確保，人的育成と活用，人的資源管理，キャリア開発に必要となる知識について学修し，人的資源管理を行うために必要な知識と技能を理解する。 第１回：講義ガイダンス／医療機関の特徴（△６ 松岡　広）□ 第２回：医療機関における組織構成（△６ 松岡　広）□ 第３回：医療機関における人的組織（△17 宮田　吉晴） 第４回：組織と労務管理（△26 菅野　亜紀）□ 第５回：医療機関における労働者のキャリア開発（△９ 大田　美香）□ 第６回：医療機関の人的資源管理と労働衛生（△９ 大田　美香） 第７回：医人的資源管理とプロジェクトマネジメント（△26 菅野　亜紀） 第８回：総括・試験（△６ 松岡　広）□	オムニバス

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（医学系研究科専門職学位課程医療経営管理学専攻）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
病院管理・医療マネジメント科目	公共医療政策		行政からの医療への関わりは幅広く，医療政策・地域医療，医療・介護保険，予防・健康増進，難病対策，労働災害，健康危機管理対応（災害や新興感染症等），国際保健，薬害や公害等の被害者への補償等について等広範囲に及ぶ。 本講義では，2040年以降を見据えた医療ニーズの変化を踏まえ，特に厚生労働省を中心に行政の役割について幅広く学修し，これらの理解の上で，厚生労働省の審議会・研究会の動向を理解し，我が国の医療政策の現状と今後の方向性を学修する。 また，グループワークでは，各学生が事前に整理したレポートを基に，将来の医療ニーズの変化を見据えた課題等について議論することで，医療経営・管理に関する実践的な学びにつなげるようにする。 第１回：ガイダンス，厚生労働行政の各分野を学ぶ意義，各種疾患対策について（△11 笠松　淳也） 第２回：予防・健康増進，健康危機管理としての医療と国際保健について（△11 笠松　淳也） 第３回：難病医療，労災保険，薬害・公害等の補償や救済制度について（△11 笠松　淳也） 第４回：薬害被害者による授業（△11 笠松　淳也） 第５回：地域医療改革と医療・介護一体化について（△11 笠松　淳也） 第６回：地域医療改革と医療・介護一体化について（△11 笠松　淳也） 第７回：地域医療改革と医療・介護一体化について（ワークショップ①）（△11 笠松　淳也，27 名越　究） 第８回：地域医療改革と医療・介護一体化について（ワークショップ②）（27 名越　究，△11 笠松　淳也）	オムニバス
	会計管理学基礎		病院経営に必要な情報は何かを知り，その分析から経営資源の最適配分や経営判断の基盤となる会計を学ぶ。原価管理から予算管理と資金繰りを踏まえて経営分析に至る全体を理解し，病院経営幹部がデータを基盤とした病院運営に取り組む基礎を学修する。 各授業のテーマとして，病院経営と会計，会計の分類と目的，病院会計準則，貸借対照表，損益計算書，キャッシュ・フロー計算書，複式簿記の仕組み，商業簿記，工業簿記，原価管理と予算管理，経営分析等について取り扱う。	
	病院経営管理		医療機関における経営を左右する様々な事象を考察し，経営計画を策定するために検討すべき要素について理解することを目標とする。 各授業のテーマとして，医療経済学と医療経営，医業会計，医療を取り巻く環境，医療施設，財務分析，医業収益，様態別収益管理，患者数の管理，給与費，人材管理，材料費・委託費・経費，設備投資と資金調達，病床機能転換と経営管理，事業計画・モニタリング，事業計画の策定実習等について取り扱う。	
	クリニカルパス特論		クリニカルパスの基本から作成までの学修により，病院経営への利活用を学ぶ。後半では，カレーライスの作成を手本に，パス化する演習を通してパス作成を学ぶことで，医療を可視化でき，生産性向上の強力なツールであるクリニカルパスを理解する。 各授業テーマとして，クリニカルパスのメリット，クリニカルパスの種類と作り方，アウトカム志向パス，電子クリニカルパスについて取扱い，演習としてカレーライスパスを作り，発表や討議を行う。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（医学系研究科専門職学位課程医療経営管理学専攻）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
病院管理・医療マネジメント実践科目	医療情報解析演習		公開医療データ（DPC・NDB・病床機能報告 等）を活用し，Excelを中心に据えた実践演習を通じて，2040年を見据えた新たな地域医療構想の考え方を踏まえた地域医療構想や病院経営に関わる課題を読み解き，施策立案につなげる実践的な医療データ分析の基礎を修得する。 各授業のテーマとしては，まず公開医療データと統計学の基本的用語について教授した後，医療データ分析にかかる前処理と再現可能な集計処理の設計，DPCデータを用いた統計学的要約，年齢調整と地域比較等について取り扱う。	
	医療マーケティング・ブランディング演習		本演習では，増患対策と医療者への訴求力向上を目指し，病院経営におけるマーケティング・ブランディング戦略を実践的に修得し，創造性と国際性を兼ね備えた医療経営改革を推進できる人材育成を目指す。 各授業のテーマとしては，まず，マーケティングコンセプト，消費者行動とブランド戦略を取り扱った後，いくつかの演習を行うことで，学生は，マーケティング志向の医療データ解析やPatientペルソナ・Patientジャーニーの作成やブランド戦略等について実践的に身に付ける。	
	病院マネジメント管理特論		病院執行部の役割や組織構成を理解し，医療のデジタル化を活用した経営戦略を策定できる能力を身に付ける。また，リーダーシップや人材管理，医療政策に関する知識を深め，実践的なマネジメントスキルを修得することを目指す。 第１回: 病院執行部の構成（△13 黒田　良祐） 第２回: 病院経営戦略の策定（△13 黒田　良祐） 第３回: 医療のデジタル化とその影響（△17 宮田　吉晴） 第４回: 財務管理と予算編成（△18 大西　正祐） 第５回: 人材管理，組織開発組織，リーダーシップ論（△13 黒田　良祐） 第６回: 医療政策と法令　（△11 笠松　淳也） 第７回: 国際的視点からの病院マネジメント（△24 伊藤　智雄） 第８回: 総括・試験　（△13 黒田　良祐）	オムニバス
	医療事業継続計画策定演習		本演習では，医療情報活用実践演習で学んだ投資計画の知見を活用して，実効性のある医療機関の持続可能な計画策定プロセスを実践的に理解する。 第１回：ガイダンス，全体像と環境分析（△22 門脇　康通） 第２回：病院建替え計画の概要（△22 門脇　康通） 第３回：病院の基本設計（25 田中　一夫） 第４回：病院のコンストラクションマネジメント（31 横田　潤賢） 第５回：病院基本構想の策定（△22 門脇　康通） 第６回：病院基本構想の策定（△22 門脇　康通） 第７回：病院基本構想の策定（△22 門脇　康通） 第８回：作成資料の批評（△22 門脇　康通）	オムニバス
	地域医療・地域包括ケア特論		地域における人口構造の変化等に対応する新たな地域医療構想を踏まえた上で，「病気，人，家，地域を診る・看る」にフォーカスし，地域包括ケアのデジタル社会における新たなシステムの実践学修を行うことで，行政施策から，在宅医療，多職種統合，まちづくりまでを学ぶ。 第１回：ガイダンス　地域包括ケアの進化と「医療の社会的役割」再定義（基礎総論）（△４ 菱本　明豊） 第２回：多職種連携の科学と実践 （△４ 菱本　明豊） 第３回：地域包括ケアと医療機関 ― 病院・診療所の役割再編と地域医療構想　（△８ 岡﨑　賢志） 第４回：地域包括支援センターの機能と自治体マネジメント（△23 毛利　健太朗） 第５回：在宅医療と生活モデル ― 医療・介護の統合ケアのデザイン（△８ 岡﨑　賢志） 第６回：地域共生社会と社会的処方　（△４ 菱本　明豊） 第７回：地域包括ケアシステムの可視化・評価・データ活用（△４ 菱本　明豊） 第８回：総括・試験（△４ 菱本　明豊）	オムニバス

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（医学系研究科専門職学位課程医療経営管理学専攻）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
病院管理・医療マネジメント実践科目	災害危機管理医学		経営層から現場リーダーまで幅広い立場で組織対応を考え，実践に活かす視座を獲得し，災害時の病院の役割と病院運営や経営にもたらす影響を理解し，BCPを介した危機管理対策やDXを活用したレジリエンス向上策について述べられることを目標とする。 第１回： ガイダンス，災害と医療を取り巻く現状（△１　大島　拓） 第２回：災害医療の基本と病院の役割　（△25 井上　明彦） 第３回：病院における事業継続と危機管理　（△１　大島　拓） 第４回：災害時の情報とDX（基礎編）（△１　大島　拓） 第５回：災害時の状貌とDX（応用編）（△１　大島　拓） 第６回：地域と病院のネットワーク　（△25 井上　明彦） 第７回：過去の災害を題材としたケーススタディ（△28 町田　宗仁） 第８回：総括・試験　（△１　大島　拓）	オムニバス
	医療経営・病院管理演習		医療関連の組織がミッションを達成するために，計画立案から実行，監視，事後評価に至るプロセスを経て，医療経営資源（人的，物的，資金，情報）を配分・管理するという実践的な経営管理スキルを学修する。 各授業のテーマとして，病院経営と指標，収益性の分析，安全性の分析，機能性の分析等について取り扱う。	
	医療データ分析演習		本演習の目的は，病院経営に必要なデータ分析の結果を踏まえ，経済性だけでなく地域性や倫理観も考慮した具体的な意思決定を行う力を養うことである。さらに，その意思決定を組織に浸透させるための基本的な知識や素養もディスカッションやディベートを取り入れながら学んでいく。これらを通じて，経営管理やデータ分析の基礎を理解し，医療経営に活用できる能力を身に付ける。 各授業のテーマとしては，経営学とデータ分析の基礎，一般経営学と医療経営の交差点，ディベートの基礎知識，経営倫理と病院経営に関するデータ，経営における効率性と倫理のジレンマ，医療機関の損益分岐の検討等について取り扱う。	
	医療人材育成		医療機関が求められる地域住民や社会のニーズの把握し，医療人としてのプロフェッショナリズムやストレスマネジメントの基礎を理解した上で，部署や職種の壁を越えての合意形成を図る力や教育スキル（カリキュラム設計，反省的実践，フィードバック）を活用する力の修得を通じて，社会の信頼に応える医療人を育て，地域社会とともに成長する医療機関の在り方を学ぶ。 第１回：ガイダンス，導入 ― 医療人材育成の意義と授業テーマの理解（△12 木村　真希） 第２回：教育カリキュラムの設計演習（34 官澤　洋平） 第３回：医療機関全体としての人材育成方策（28 野々垣　浩二） 第４回：多職種連携と組織間対話の技法　（△12 木村　真希） 第５回：ケーススタディ ― 地域とともに成長する医療機関（23 小林　和幸） 第６回：反省的実践　（△12 木村　真希） 第７回：ストレスマネジメントとレジリエンス　（△12 木村　真希） 第８回：総括・試験　（△12 木村　真希）	オムニバス

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（医学系研究科専門職学位課程医療経営管理学専攻）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
医療情報専門科目	医療デジタル戦略概論		医療デジタルの事例から戦略観点を学修し今後の動向を知ることで，世界最新のデジタル経営と医療デジタルの特徴を理解し，IT技術や医療デジタルの動向を継続的に洞察できるようになることを目指す。 各授業のテーマとしては，情報技術活用の歴史や世界のデジタル経営をはじめ，いくつか事例研究を取り上げるとともに，医療デジタル技術の最新動向と倫理的・法的課題についても触れる。	
	医療情報・経営戦略		病院経営においては，高い倫理観と使命感を持ちつつ，ICT依存社会の中でいかに生き残るべきかを考える必要がある。本講義では，情報倫理学の視点から病院経営との関わりを詳細に論じ，受講生同士の議論を通じて理解を深めていく。 各授業のテーマとしては，情報倫理，ICT依存社会のプライバシーと個人情報，ICTで分析されるデータと行動，ICTプロフェッショナリズムの確立の困難性，コンピューティングにおける責任所在の曖昧さ等について取り扱う。	
	医療情報安全管理特論		医療情報における安全管理の法規と手法を学び，医療DXの進展に伴い増大する医療情報を，安全かつ適正に運用するための考え方と制度を体系的に理解する。 各授業のテーマとしては，医療情報システムの安全管理に関するガイドライン，医療情報を取り扱う事業者における安全管理ガイドライン，臨床研究における安全管理等について取り扱う。	
	課題解決型特別研究1		学生自身の興味や問題意識を起点として，医療経営管理に関する研究テーマを見出し，主担当教員との討論を通じて課題解決のプロセスを理解する。そして，主体的に調査・分析を進め，プレゼンテーションし，「課題解決型特別研究２」の研究計画を策定することを目標とする。 （△１ 大島　拓） 主として，災害時における病院BCP（事業継続計画）の実効性評価と，DXを活用した医療提供体制のレジリエンス向上方策に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△２ 髙岡　裕） 主として，医療情報の危機管理やDX対応，医療人材の育成等に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△３ 瀧本　禎之） 主として，医療倫理及び組織倫理に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△４ 菱本　明豊） 主として，地域包括ケアシステムに関する研究テーマについて主に医師・医療職を想定して研究指導を行う。 （△５ 中村　恵宣） 主として，リアルワールドデータ（RWD）及び医療情報データウェアハウス（DWH）の利活用に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△６ 松岡　広） 主として，医療安全管理体制の構築と医療の質指標（QI）の運用，並びに医療機関における人的資源管理と新規部門の立ち上げ・自立経営に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△７ 山本　泰司） 主として，医療経済的な側面を考慮に入れた臨床医学の理解に関する研究テーマについて主に医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （⑤ 廣橋　祥） 主として，病院の財務会計に関する研究テーマについて主に医師・事務職を想定して研究指導を行う。 （△８ 岡﨑　賢志） 主として，地域包括ケアシステムに関する研究テーマについて主に医師・医療職を想定して研究指導を行う。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（医学系研究科専門職学位課程医療経営管理学専攻）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
医療情報専門科目			（⑥ 山﨑　竜弥） 主として，医療情報と情報倫理に関する研究テーマについて主に医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△９ 大田　美香） 主として，診療報酬と施設基準，業務標準化，キャリア形成に関する研究テーマについて主に医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△10 及川　正範） 主として，医療倫理及び組織倫理に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△11 笠松　淳也） 主として，医療政策や医療保険政策の動向を踏まえた地域医療改革と病院経営に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△12 木村　真希） 主として，医療人材育成に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△13 黒田　良祐） 主として，病院運営や病院経営に関する研究テーマについて主に医師を想定して研究指導を行う。 （△14 酒井　良忠） 主として，医療コミュニケーション学に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△15 眞庭　謙昌） 主として，医療サービス提供と病院経営に関する研究テーマについて主に医師・医療職を想定して研究指導を行う。 （△16 三宅　秀明） 主として，医療安全と病院経営に関する研究テーマについて主に医師・医療職を想定して研究指導を行う。 （△17 宮田　吉晴） 主として，医療ビッグデータの利活用における課題に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （⑮ 藤原　彩子） 主として，ビッグデータ・リアルワールドデータを用いた医療・健康課題に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△18 大西　正祐） 主として，医療機関の経営改善に関する研究テーマについて主に事務職を想定して研究指導を行う。 （△19 簗部　卓郎） 主として，病院運営や病院経営に関する研究テーマについて主に医師を想定して研究指導を行う。 （⑱ 中元　淳） 主として，医療DXにおけるIT技術とデジタル化推進・管理に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△20 佐方　信夫） 主として，医療提供体制・診療報酬制度ならびに医療制度や地域の医療ニーズと医療提供の実態・成果との関連を検討するヘルスサービスリサーチに関する研究テーマについて主に医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△21 綿貫　真也） 主として，医療機関のマーケティング・ブランディングや患者・医療消費者の□動・ニーズに関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△22 門脇　康通） 主として，病院の経営管理，経営・業務改善活動，原価計算，医療マーケティングに関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（医学系研究科専門職学位課程医療経営管理学専攻）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
情報・経営統合戦略実践科目	診療報酬・施設基準管理実践		病院の収益改善は，収入の増加と支出の削減が重要である。収入増加として施設基準を算定する想定で，診療報酬制度を読み解き，何を準備してどのように運用を作るのかを理解する。支出の削減としては見積もりの査定等でのコスト削減，厚労省やから厚生局の指導の対策について学び自主返還額の低減に繋がる方策を学ぶ。 第１回：講義ガイダンス，診療報酬制度（△９　大田　美香） 第２回：施設基準の要件と関連するガイドライン（△９　大田　美香） 第３回：診療報酬や施設基準を考慮した病院経営（29 林　篤志） 第４回：指導の実際（△28 町田　宗仁） 第５回：診療報酬や施設基準に係るDXの今とこれから（△22 門脇　康通） 第６回：演習：届出書類の作成（△９　大田　美香） 第７回：演習：指導対策（△９　大田　美香） 第８回：総括・試験（△９　大田　美香）	オムニバス
	医療経営学実践演習		本演習では，デジタル化が進み公開が進む医療データの活用手法の説明を通じてベンチマークの考え方を理解し適切に活用できるようになることを目指すとともに，外部データをはじめとする医療データを理解し分析した上で，組織内外のステイクホルダーへの交渉や計画策定に活用できることを目標とする。 第１回：ガイダンス，全体，ベンチマークの考え方（△20 佐方信夫） 第２回：ベンチマークの考え方　（△20 佐方　信夫） 第３回：データクレンジングの課題（△26 菅野　亜紀 ） 第４回：購入と支出考え方　（△20 佐方　信夫） 第５回：価格交渉の手法　（△20 佐方　信夫） 第６回：中期計画策定のプロセスと実務　（△20 佐方　信夫） 第７回：外部データを活用した分析・評価　（△22 門脇　康通） 第８回：外部データを活用した分析・評価　（△22 門脇　康通）	オムニバス
	医療情報活用実践演習		本演習では，医療機関で課題となる高額医療機器への投資をテーマとして，医療データのデジタイゼーション化と費用対効果の手法を学ぶ。また，投資対効果を検討して定量的に導入可否を決断できるようになることを目標とする。 第１回：ガイダンス，高額医療機器（投資）の検討 第２回：手術ロボットの特性の概説 第３回：原価計算の概説 第４回：投入マーケットの検討 第５回：手術ロボットの導入検討 第６回：手術ロボットの導入検討 第７回：医療機関の再編統合の検討 第８回：投資計画に対する評価	
	医療情報技術各論		病院の経営課題の改善に取り組むに当たってのデジタル化推進のための実践的な専門性・創造性を育成するため，AI等の最新動向を取扱いながらデジタル化推進に必要な構成要素と成功要因を理解し，演習を通じて実践的なプロジェクト立案ができるようになることを目標とする。 各授業のテーマとして，デジタル人材に必要な技術知識基礎から最新動向や思考法基礎，患者体験（CX）等の事例研究，プロジェクトデザインに関する演習等を織り交ぜなら展開する。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（医学系研究科専門職学位課程医療経営管理学専攻）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
情報・経営統合戦略実践科目	課題解決型特別研究2		自らの医療経営管理に関する研究テーマに対して実施可能な課題解決実施計画を作成し，その内容について発表するとともに，成果発表で得た意見を踏まえて課題解決のレポートを完成させて提出することを目標とする。 （△１ 大島　拓） 主として，災害時における病院BCP（事業継続計画）の実効性評価と，DXを活用した医療提供体制のレジリエンス向上方策に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△２ 髙岡　裕） 主として，医療情報の危機管理やDX対応，医療人材の育成等に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△３ 瀧本　禎之） 主として，医療倫理及び組織倫理に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△４ 菱本　明豊） 主として，地域包括ケアシステムに関する研究テーマについて主に医師・医療職を想定して研究指導を行う。 （△５ 中村　恵宣） 主として，リアルワールドデータ（RWD）及び医療情報データウェアハウス（DWH）の利活用に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△６ 松岡　広） 主として，医療安全管理体制の構築と医療の質指標（QI）の運用，並びに医療機関における人的資源管理と新規部門の立ち上げ・自立経営に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△７ 山本　泰司） 主として，医療経済的な側面を考慮に入れた臨床医学の理解に関する研究テーマについて主に医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （⑤ 廣橋　祥） 主として，病院の財務会計に関する研究テーマについて主に医師・事務職を想定して研究指導を行う。 （△８ 岡﨑　賢志） 主として，地域包括ケアシステムに関する研究テーマについて主に医師・医療職を想定して研究指導を行う。 （⑥ 山﨑　竜弥） 主として，医療情報と情報倫理に関する研究テーマについて主に医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△９ 大田　美香） 主として，診療報酬と施設基準，業務標準化，キャリア形成に関する研究テーマについて主に医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△10 及川　正範） 主として，医療倫理及び組織倫理に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△11 笠松　淳也） 主として，医療政策や医療保険政策の動向を踏まえた地域医療改革と病院経営に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△12 木村　真希） 主として，医療人材育成に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△13 黒田　良祐） 主として，病院運営や病院経営に関する研究テーマについて主に医師を想定して研究指導を行う。 （△14 酒井　良忠） 主として，医療コミュニケーション学に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△15 眞庭　謙昌） 主として，医療サービス提供と病院経営に関する研究テーマについて主に医師・医療職を想定して研究指導を行う。 （△16 三宅　秀明） 主として，医療安全と病院経営に関する研究テーマについて主に医師・医療職を想定して研究指導を行う。 （△17 宮田　吉晴） 主として，医療ビッグデータの利活用における課題に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。	

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（医学系研究科専門職学位課程医療経営管理学専攻）

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
情報・経営統合戦略実践科目			（⑮ 藤原　彩子） 主として，ビッグデータ・リアルワールドデータを用いた医療・健康課題に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△18 大西　正祐） 主として，医療機関の経営改善に関する研究テーマについて主に事務職を想定して研究指導を行う。 （△19 簗部　卓郎） 主として，病院運営や病院経営に関する研究テーマについて主に医師を想定して研究指導を行う。 （⑱ 中元　淳） 主として，医療DXにおけるIT技術とデジタル化推進・管理に関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△20 佐方　信夫） 主として，医療提供体制・診療報酬制度ならびに医療制度や地域の医療ニーズと医療提供の実態・成果との関連を検討するヘルスサービスリサーチに関する研究テーマについて主に医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△21 綿貫　真也） 主として，医療機関のマーケティング・ブランディングや患者・医療消費者の□動・ニーズに関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。 （△22 門脇　康通） 主として，病院の経営管理，経営・業務改善活動，原価計算，医療マーケティングに関する研究テーマについて医師・医療職・事務職を想定して研究指導を行う。	